

◆定例会情報◆

藤野山岳会の月例会は、令和2年4月以来開催を中止しております。令和4年3月より再開予定です。なお、藤野山岳会の年末の忘年会はコロナ禍等による自粛のため今年中止いたします。

◆山行情報◆

7月28日(水)～29日(木) 至仏山・日光白根山
8月17日(火)～19日(木) 月山

◆トレイル情報◆

- ・今年度の北丹沢山岳センター主催2大会は中止を決定
例年初夏の恒例である北丹沢12時間山岳耐久レースに続き、秋の恒例である陣馬山トレイルレースも今年度は開催中止することに決定いたしました。
- ・協力団体の東京都ハセツネも今年の大会は中止を発表 平成4年度に開催予定
- ・八王子教育委員会主催八峰マウンテントレイルは予定通り12月19日(日)に開催予定
北丹沢山岳センターへ今年も派遣人員20名の協力依頼がありました。以前からご協力をいただいております皆様、今年も例年同様どうぞよろしくお願いたします。

◆北丹沢山岳情報◆

【神ノ川ヒュッテ】

神ノ川林道は8月の集中豪雨により旧長者舎付近の林道が崩壊し、年内の開通は不可
神ノ川林ヒュッテは再開を予定しております。ご協力をお願いいたします。

【蛭ヶ岳山荘】

コロナ対策を実施し、一日の宿泊人数30名を上限とし通常通り営業しています。
紅葉時期の団体ツアー申込がちらほらと届き始めました。10月の秋の荷揚げの実施日はまだ確定していません。

【陣馬山 和田峠】

和田峠の公衆トイレ改修工事について、8月10日(火)に当センターにて相模原市観光・シティプロモーション課の宮野課長と清水総括副主幹、加藤主任の3名が来訪し協議した。市の財政状況が厳しい折、要望について2年をかけて一部改良工事を検討するとのこと。「峠の茶屋」は雨天以外営業しています。秋風さわやかなこの時期はハイキング客や、サイクリストも多く利用されます。また陣馬山頂信玄茶屋も土日営業を再開しています。

◆会員ほか近況情報◆

藤野山岳会の重鎮、前会長の遠藤勝己さんが体調を回復され先ごろ退院しました。季節の変わり目ですので、どうかお体を大事にお過ごしください。

杉本憲昭事務局長が神奈川県山岳連盟機内誌「ときわ木」に6回に亘り北丹沢の人と歴史について連載いたします。

トレイルランナー歴代女性チャンピオンの鈴木ちがやさん(旧姓・間瀬)が緑区小淵に居住されました。これからイベント他各行事も検討しております。ご協力ください。

今年6月26日に藤野中央公民館で開かれた「気候変動の藤野学 第一回会議」に、藤野山岳会会長小池栄一郎さんが講師として「私の山崩れ体験」を講演されました。ふじの里山通信第27号に記事が載っています。小池会長は一昨年この山崩れにより佐野川の自宅が被災しましたが、この秋、小淵に建築中の新居に移られます。

気候変動の藤野学 第一回会議

令和3年度第1回の会議を6月26日、藤野中央公民館で開きました。「気候変動藤野学」に参加された方、新しく藤野商工会青年部の方々など、約20名の参加がありました。市のSDGs推進室 榎本幸二さんにも参加していただきました。これからも情報提供やご意見をいただき、「気候変動藤野学」を推進していきたいと考えています。

1. 講演「私の山崩れ体験」 講師：藤野山岳会会長 小池栄一郎さん
小池さんは、1昨年の台風19号で自宅が山崩れの被害に遭われました。そのときの生々しい体験を話して頂きました。「裏山が崩れる30分ほど前、土が腐ったような異様な匂いがした」「5分くらい前に、「コトン、コトン」と石が転がり落ちる音がした」、「これは裏山が危ない。家の中にいた奥さんと友人にすぐ家から出るよう指示した」「そのあとすぐに裏山が崩れ、家が5、6メートル押し出され傾き、住める状態ではなくなった」などの、貴重なお話を伺うことができました。
2. 雨量測定について
これまで、何年も続けている里山くらぶの仲間の永井基朗さん、押切京子さん、そして倉田剛さんが雨量測定について経験談を紹介しました。その後、雨量の測定方法やデータの共有方法についてグループ討議しました。商工会青年部は藤野地域のハザードマップの検討等計画していて、これからお互い連携して取り組もうということになりました。参加者にはそれぞれ危機意識があり、活発な話し合いができました。小池栄一郎さんはじめ参加いただいた皆さんに感謝申します。次回は、10月3日(日)を予定し、「防災について」話し合う予定です。



前理事長 永井さんの報告



グループ発表

ふじの里山通信第27号より転載